

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

●フリーダイヤル
☎ 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。
※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99262401 108 F

HiKOKI

取扱説明書

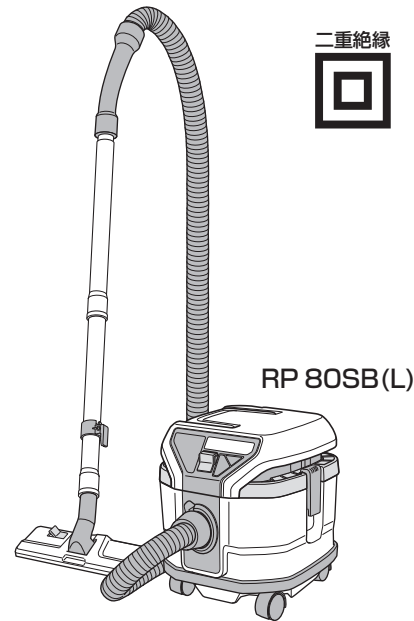
用途

- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、
穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 床にこぼした水などの液体吸引

集じん機〔乾湿両用〕

- | | |
|------------------|------------------|
| 8 L RP 80SB(L) | 15 L RP 150SB(L) |
| 25 L RP 250SB(L) | 35 L RP 350SE(L) |

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに	集じん機の安全上のご注意	1
	二重絶縁について	3
	本製品の使用上のご注意	3
	各部の名称	5
	仕様	6
使い方	標準付属品	7
	別売部品	8
	ご使用前の準備・点検	9
	ポリ袋の取付け	10
	フィルタの取付け	11
	掃除機として使う	13
	電動工具との接続	14
	フロート機構	14
	集じんする	15
	フィルタのちり落とし	17
粉じん(水)を捨てる	18	
その他	運搬・収納	19
	保守・点検	21
	ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告


- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**
表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **作業に合った集じん機を使用してください。**
指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

⚠警告

- ⑦ **集じん機は、注意深く手入れをしてください。**
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ **次の場合は、集じん機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理・保管する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、電源スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩ **油断しないで注意して作業を行ってください。**
 - 集じん機を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など注意して慎重に作業してください。
 - 集じん機からはなれて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹き出し、発煙など）に注意しながら作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑪ **損傷がないか点検してください。**
 - 使用前に、集じん機やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した集じん機やその他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチ類が故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 電源スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- ⑫ **集じん機の修理は、専門店で依頼してください。**
 - この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違っ て組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、本製品について、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **定格 15 A 以上のコンセントを使用してください。**
他の器具と併用する場合、下記 (1)、(2) の合計がコンセントの定格電流を超えないようにしてください。異常発熱による火災の原因になります。
(1) 本製品の定格電流
(2) コンセントを併用する器具の定格電流
- ② **以下の物は吸い込まないでください。**
 - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温の物。
 - 引火性物質 (ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質 (ニトログリセリンなど)、発火性物質 (アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - 木片、金属、石、ひもなど。
 - セメント粉・トナーなど固化する物や、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
 - 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
火災やけがの原因になります。
- ③ **フィルタは正しくセットして使用してください。**
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーターが故障する原因になります。
- ④ **この集じん機は屋内用です。屋外で使用しないでください。**
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

警告

- ⑤ **集じん機や電源プラグに水や油などをかけたりしないでください。**
この集じん機は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ⑥ **集じん機の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑦ **フロートが作動したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑧ **集じん機を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。**
感電や故障の原因になります。
- ⑨ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、集じん機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑩ **使用中、集じん機の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑪ **集じん機は転倒などによる変形や破損を防止するため、静かに移動してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

警告マークについて



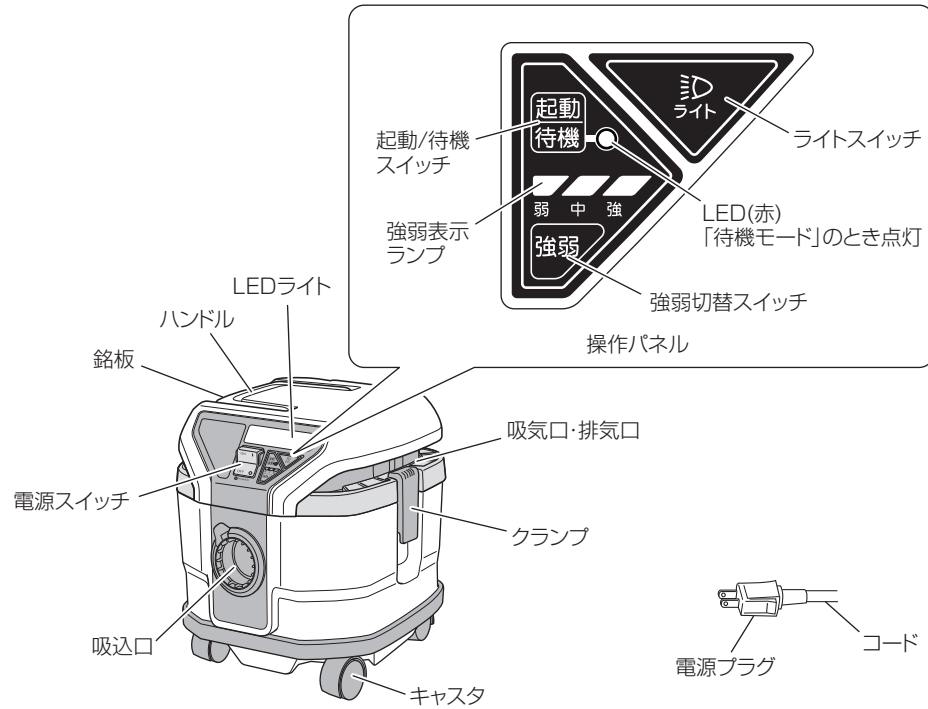
このマークのある操作・手順では、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグをコンセントにさしたまま準備や点検、部品の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

【イラストは RP80SB(L) です】



仕様

形名	RP 80SB(L)	RP 150SB(L)	RP 250SB(L)	RP 350SE(L)	
使用電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V				
消費電力	1,140 W				
モーター	単相直巻整流子モーター				
絶縁構造	二重絶縁				
集じん機能	乾湿両用				
集じん容量	8 L	15 L	25 L	35 L	
吸水容量 ^{*1}	6 L	12 L	22 L	30 L	
フィルタの種類	布フィルタ/水用フィルタ				
電流	強 12.0 A 中 10.6 A 弱 8.8 A				
最大風量	強 3.5 m ³ /min 中 2.6 m ³ /min 弱 2.2 m ³ /min				
最大真空度	強 22.0 kPa {2,240 mm 水柱} 中 13.0 kPa {1,320 mm 水柱} 弱 9.8 kPa {1,000 mm 水柱}				
ホース(内径×長さ)	φ 38 mm × 2 m				
外形寸法	幅	331 mm	331 mm	390 mm	390 mm
	高さ	361 mm	418 mm	555 mm	665 mm
	奥行	364 mm	364 mm	469 mm	469 mm
質量 ^{*2}	6.7 kg	6.9 kg	9.3 kg	9.9 kg	
コード	2心キャブタイヤケーブル 5 m				

※1: 吸水容量は、使用条件により異なる場合があります。

※2: コード、付属品を除く

標準付属品

部 品 名		個 数
ホース (内径φ38×長さ2m) (一般清掃用)		1本
延長管		2本
床用吸口		1個
すき間用吸口		1個
ポリ袋		5枚
布フィルタ (本体装着)		1個
水用フィルタ		1個
パイプホルダ		1個
収納バッグ 床用吸口、すき間用吸口などの保管に ご使用ください。		1個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

最新の情報は、弊社ホームページ、または総合カタログをご参照ください。

部 品 名		用 途
紙フィルタ (5枚入り) [乾いた一般ごみ用] ・RP 80SB(L) / RP 150SB(L) 【コード No. 0037-3627】 [乾いた細かい粉じん用] (石こうボード、サイディング材など) ・RP 80SB(L) 【コード No. 0032-3703】 ・RP 150SB(L) 【コード No. 0031-0689】 ・RP 250SB(L) / RP 350SE(L) 【コード No. 0030-9481】		紙フィルタごと捨てることで、清潔にごみ捨てができます。水は吸引できません。紙フィルタ使用時は、付属の布フィルタを併用してください。
ホース (内径φ38×長さ5m)		内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。電動工具と接続しても使用できます。
ホース (ホースカバー付) (電動工具との接続用) (内径φ28×長さ5m)		内径が細いため、電動工具の取り回しが楽にできます。
ホースベルト (5本入り)		ホース (内径φ28) と電動工具のコードを束ねて、物に引っ掛かりにくくします。
ホースカバーセット		ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド (呼径：φ38、φ60、φ75)		集じんアダプタを使用する場合、集じん機のアダプタと接続するため使用します。
各種電動工具との接続部品		集じんアダプタやジョイント等については、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご参照ください。

ご使用前の準備・点検

● 漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

● 延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

下表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

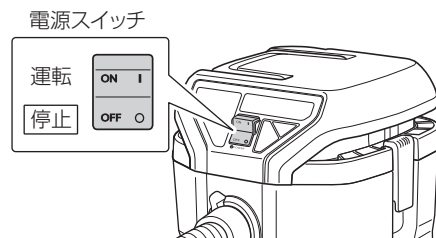
コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

● 電源スイッチの確認

電源スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に集じん機が起動し、思わぬ事故の原因になります。

電源スイッチは、「ON」側を押すと運転し、「OFF」側を押すと停止します。電源プラグさし込み時は、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。



● 使用電源の確認

- 銘板に表示してある電源で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
- 直流電源やエンジン発電機、昇圧器などの電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

● コンセントの確認

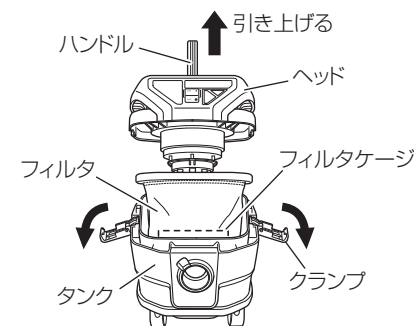
電源プラグがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などにご相談ください。修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

🗑️ ポリ袋の取付け (ポリ袋なしでも使用できます)

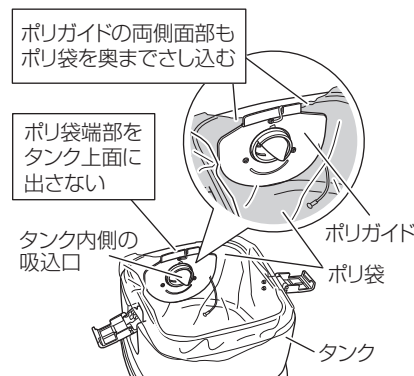
ポリ袋を使用すると手を汚さずごみが捨てられます。

- 1 クランプ(2個)をはずし、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。タンク内のフィルタ、フィルタケースを取りはずしてください。



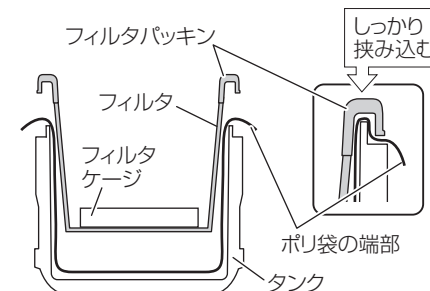
- 2 タンク内側とポリガイドの間に、付属のポリ袋をさし込みます。まずポリガイドの下側、次に両側面の順にさし込んでください。

- 3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。



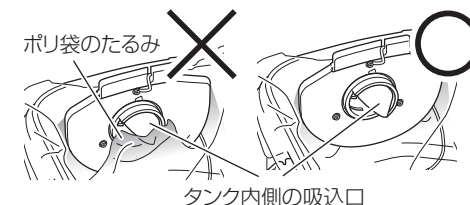
- 4 フィルタ、フィルタケースを取付けます。(P.11「フィルタの取付け」参照)

注 フィルタ上端のフィルタパッキングが、ポリ袋をしっかり挟み込むように取付けてください。



- 注** 市販品のポリ袋は、45 L(幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。なお、厚さ 0.04 mm 以上の物をご使用ください。

- 吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください。吸込口がふさがれ、集じんできません。
- ポリ袋のたるみがタンク内側の吸込口をふさがないように、ポリ袋を取付けてください。



フィルタの取付け

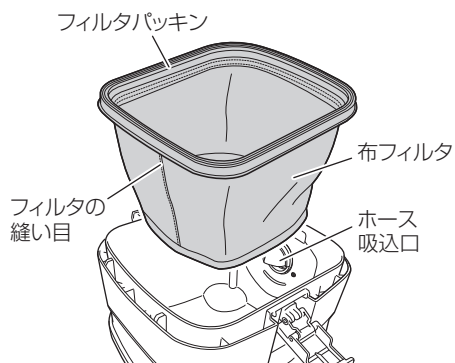
⚠ 警告

フィルタは正しくセットして使用してください。
モーターが故障する原因になります。

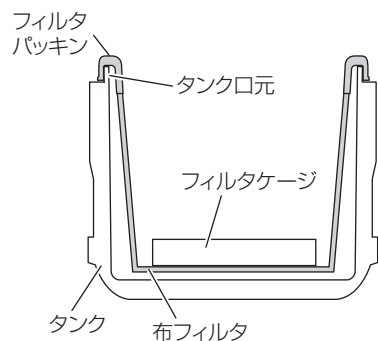
布フィルタの取付け

- 注**
- サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする際は、別売部品の紙フィルタを使用してください。
 - 布フィルタは乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも使用できます。
 - 繰り返し大量の吸水をする場合は、水用フィルタに付け替えてください。
布フィルタで繰り返し吸水すると、吸水量が著しく低下します。

- 1** 布フィルタの縫い目を、ホース吸込口の反対側になるように組み込みます。



- 2** フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

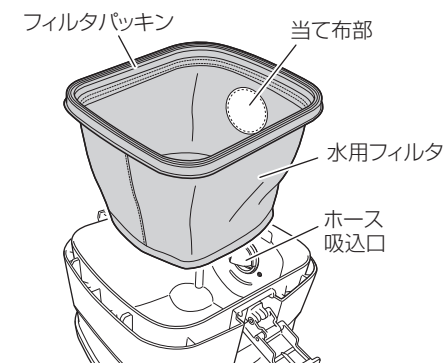


- 3** 布フィルタの底部にフィルタケースが入っていることを確認してください。

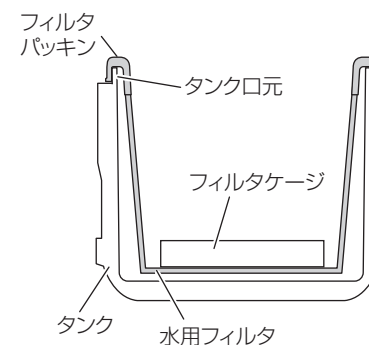
水用フィルタの取付け

- 注**
- 繰り返し大量の吸水をする場合は、水用フィルタを使用してください。
 - 水用フィルタは布フィルタを取りはずしてから取付けてください。
 - 水用フィルタで粉じんを吸引しないでください。

- 1** 水用フィルタの当て布部をホース吸込口に合わせて組み込みます。



- 2** フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。



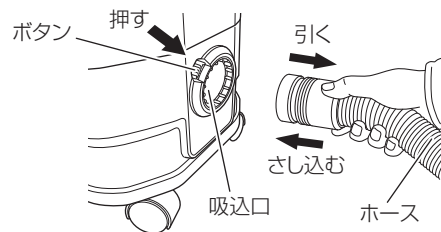
- 3** 水用フィルタの底部にフィルタケースが入っていることを確認してください。

掃除機として使う

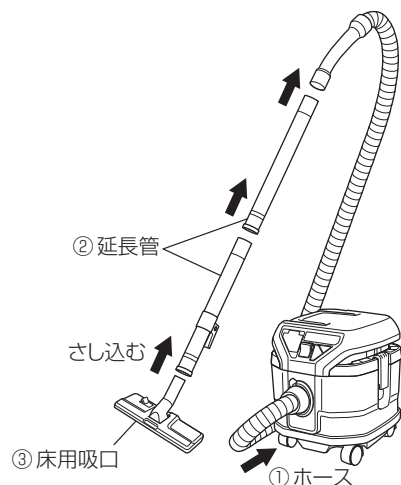
ホースに付属品を接続して使用してください。

注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引いて集じん機を移動させないでください。

1 付属のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまでさし込み、接続します。
ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。



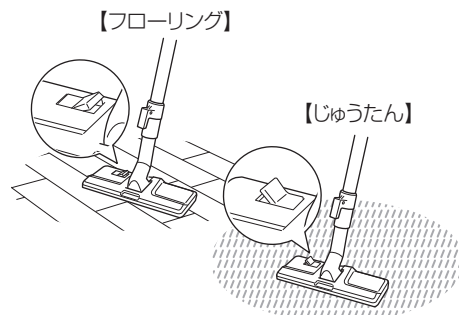
2 ① ホース
② 延長管
③ 床用吸口
の順に、矢印方向にさし込みます。
用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。



床用吸口の使い方

床用吸口は用途に合わせてブラシを出し入れしてお使いください。

- フローリングや畳などはブラシを出して使用してください。
- じゅうたん、カーペットなどやわらかい場所では、ブラシを出さずに使用してください。

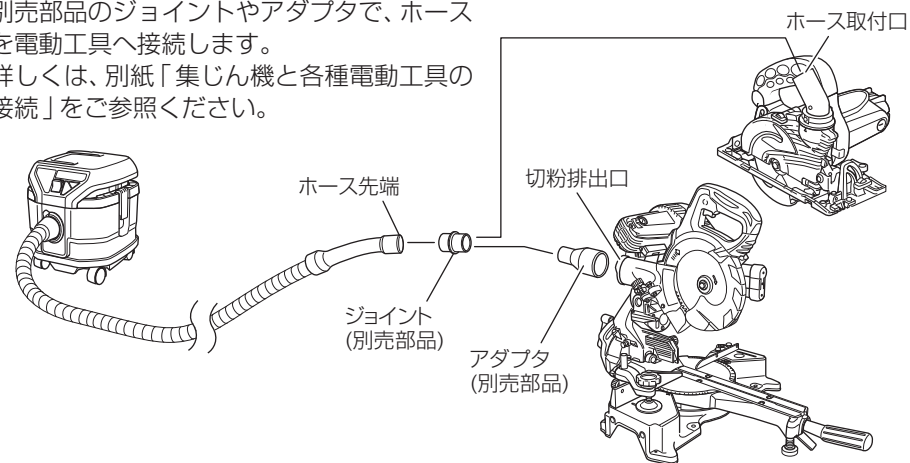


電動工具との接続

警告

- 下記の消費電力を超える電動工具は、集じん機の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
集じん機を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 285 W まで
集じん機を「中」運転する場合…電動工具の消費電力 425 W まで
集じん機を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 585 W まで
- 金属の研削、切断作業時に発生する火花の集じんはできません。

別売部品のジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。
詳しくは、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご参照ください。



フロート機構

警告

- フロートが働いたままで、運転を続けしないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- 洗剤など発泡性の液体や泡を吸い込まないでください。
フロートが働く前に排気口から泡が吹き出します。そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この集じん機には、一定量以上の水を吸い込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。
フロートが作動して水を吸い込まないときは、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、タンク内の水を捨ててください。

集じんする

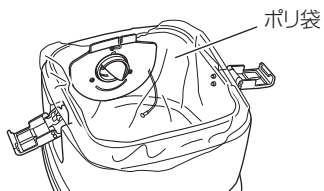
- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 床にこぼした水などの液体吸引

警告

- ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。急に集じん機が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

1 ポリ袋を取付ける

必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。
(P.10「ポリ袋の取付け」参照)



2 フィルタを確認する

タンク内に正しく取付けてあることを確認します。
(P.11「フィルタの取付け」参照)

注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引いて集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。

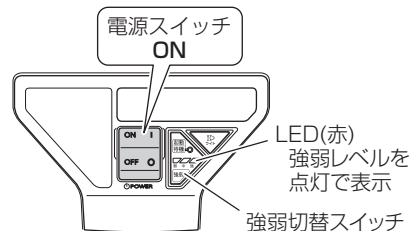
3 用途に応じホースや付属品などを接続する

- タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。掃除機として使用する場合は、付属の延長管などを接続します。
(P.13「掃除機として使う」参照)
- 電動工具と接続する場合は、必要に応じて別売部品のジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。
(P.14「電動工具との接続」参照)

4 集じん機の電源プラグをコンセントにさし込む

5 電源スイッチを入れる

- 「ON」側を押して運転、「OFF」側に押しすと停止します。
- 運転中、強弱切替スイッチを押すたびに、吸込力が切り替わります。用途に合わせて「強」「中」「弱」から選択してください。
(強弱レベルはLED(赤)が点灯して表示)



- 注**
- 電源スイッチを「OFF」側にした後、再び「ON」側にすると、起動/待機スイッチおよび強弱切替スイッチは電源スイッチを「OFF」にしたときの状態で復帰します。
 - 待機モードのときは電源スイッチを「ON」側にしても、モーターは作動しません。

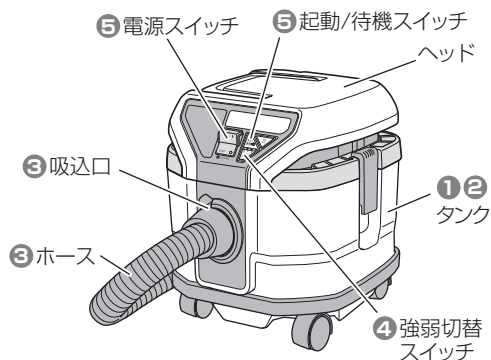
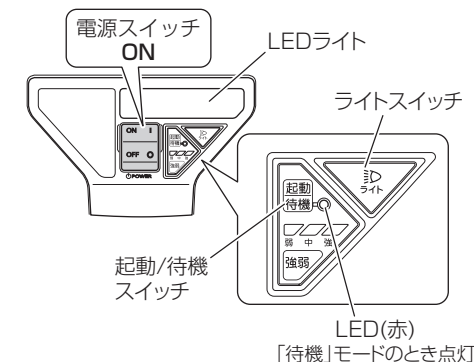
LEDライトの使い方

注意

LEDライトをのぞきこんで、直接ライトの光を目に当てないでください。LEDライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

電源スイッチが「ON」側の状態でライトスイッチを押すと、LEDライトが点灯・消灯します。

また、起動/待機スイッチが「待機」モードに設定されていれば、集じん機を稼働させない状態でもライトスイッチの操作で点灯・消灯ができます。



🚫 フィルタのちり落とし

⚠️ 警告

粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

⚠️ 注意

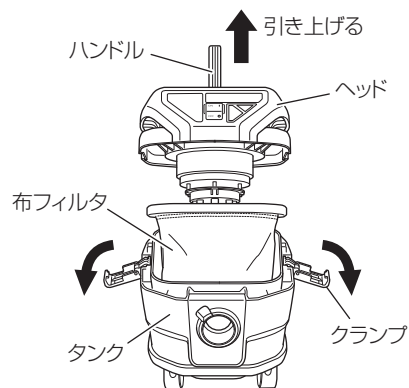
粉じんが満杯になっていると吸込力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に粉じんは早めに捨ててください。

運転中に吸込力が低下した場合、布フィルタのちり落としをしてください。

1 クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 布フィルタがタンクに組み込まれた状態で、フィルタの内側面を数回はたいて付着した粉じんを落とします。吸込力が回復します。

3 ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。



🚫 粉じん(水)を捨てる

⚠️ 警告

- ヘッドを取りはずす前に、タンク内に液体が入ったまま集じん機を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーターが故障する原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

1 クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 布フィルタやフィルタケージを軽くはたいて、付着した粉じんを落としてから、タンクから取りはずします。

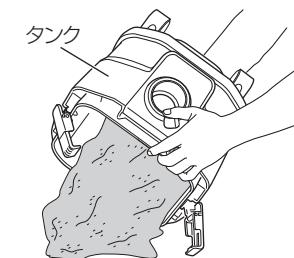
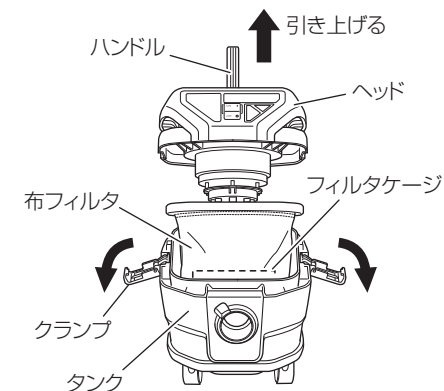
- 注**
- 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
 - ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。

3 タンクを倒し、粉じんを捨ててください。ポリ袋を使用している場合は、口を閉じて取り出してください。

4 布フィルタ、フィルタケージを取付けます。次に、ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。
(P.10「ポリ袋の取付け」参照)
(P.11「フィルタの取付け」参照)

⚠️ 注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
- 使用後は毎回、粉じんを捨てるようにして、集じん機、フィルタなどを常に清潔に保ってください。吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。クランプが破損する原因になります。



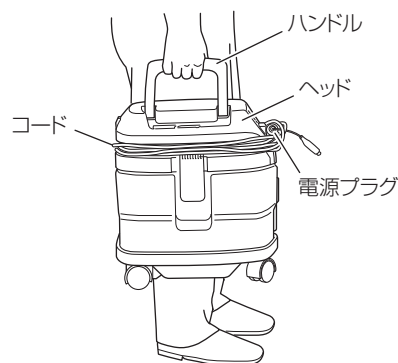
運搬・収納

● ハンドルの使い方・電源コードの収納方法

運搬・移動する場合はハンドルを持ってください。ハンドルを使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

コードはヘッド下部に巻き付けて収納できます。巻き付けたコードの内側に電源プラグを引っ掛けてください。

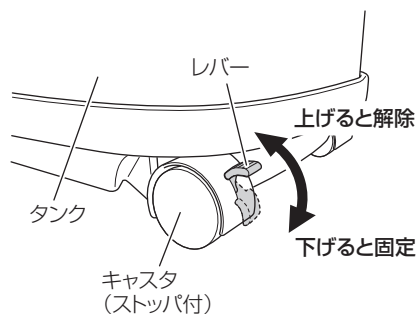
集じん機を運転する場合は、巻き付けたコードをすべてほどいてください。



● キャスタの固定・解除

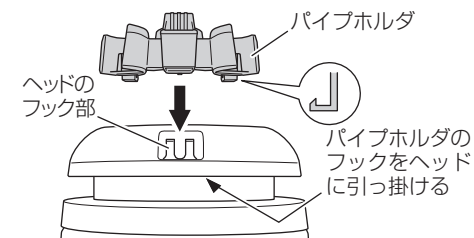
キャスタのストッパで車輪の回転を固定・解除できます。

注 集じん機を移動する場合は、ストッパが解除されていることを確認してください。

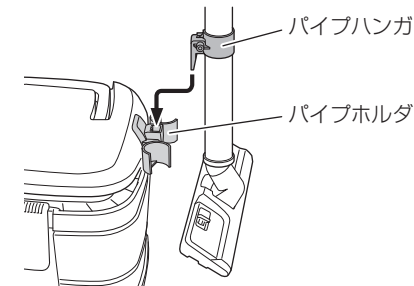


● 集じん機の収納

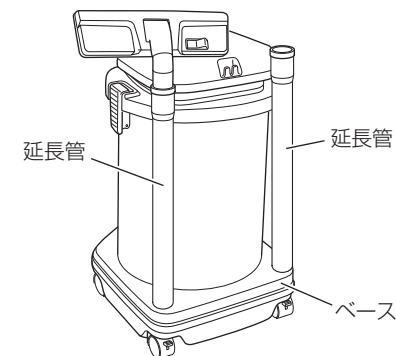
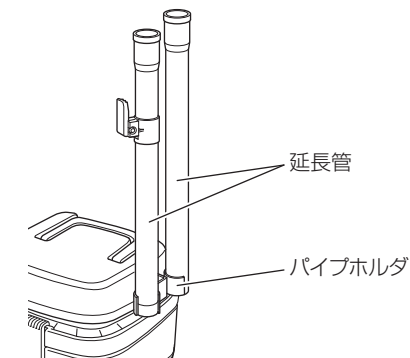
1 付属のパイプホルダを図のようにしてフック部に取付けます。



2 掃除の途中で作業を中断したいときは、パイプハンガをパイプホルダに引っ掛けてください。



3 集じん機を収納するときは、図のように延長管をパイプホルダにさし込むとコンパクトに収納できます。



RP 350SE(L) の場合

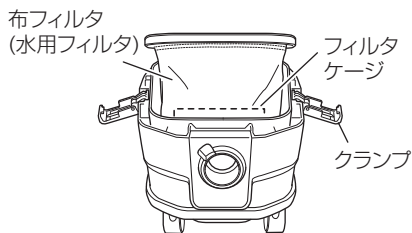
警告

- ぬれた手で作業しないでください。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

●フィルタの手入れ

布フィルタ・水用フィルタは、目詰まりすると吸込力が著しく低下しますので、フィルタケースを持って、フィルタを軽くはたき、付着した粉じんをこまめに取り除いてください。

布フィルタは水にぬれたまま粉じんを吸引すると、すぐ目詰まりして吸引力が低下します。定期的に水でもみ洗いをし、陰干しで十分乾燥させてから使用してください。



- 注**
- 布フィルタ・水用フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
 - 布フィルタ・水用フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は交換してください。
 - 布フィルタはブラシで強くこすらないでください。

●モーターの取扱いについて

モーターに、油および水をつけないよう十分注意してください。

●集じん機の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

●清掃する

集じん機の汚れは、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取ってください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●集じん機や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所